

平成16年
10月5日(火)～12月5日(日)

大和王権と渡来人

三・四世紀の倭人社会

考古学セミナー

場所 1階ホール 時間 午後2時～4時(受付午後1時～)

※全回参加者には修了証と記念品を贈呈いたします。

- 第一回 10月10日(日) 武末純(福岡大学教授)「倭の三韓と三國時代の土器」
 - 第二回 10月24日(日) 村上恭通(愛媛大学助教授)「三・四世紀の日韓鉄事情」
 - 第三回 10月31日(日) 白石太郎(大阪府立近つ飛鳥博物館長、奈良大学教授)「三・四世紀の畿内と北部九州」
 - 第四回 11月7日(日) 重藤輝行(福岡県教育委員会)「三・四世紀最大の国際港、西新町遺跡」
 - 第五回 11月21日(日) 山尾幸久(立命館大学名誉教授)「大和王権と渡来人」
- 本館学芸員による展示解説/毎週日曜日と祝休日/午前11時/特別展示室にて



大阪府立弥生文化博物館

<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日/毎週月曜日(但し祝日の場合は開館、翌日火曜日が休館)

入館料/一般600円[480円]・65歳以上・高大生400円[320円]・小中学生・障害者手帳を持つ方は無料([]内は団体料金、ただし20名以上)

所在地/〒594-0083 大阪府和泉市池上町443 Tel.0725-46-2162 Fax.0725-46-2165 交通/JR阪和線[信太山]駅下車徒歩7分、南海本線[松ノ浜]駅下車徒歩20分 駐車場/普通車80台、大型バス7台(無料)

主催 大阪府立弥生文化博物館、産経新聞社 後援 関西テレビ放送、(財)大阪21世紀協会 協賛 堺女子短期大学、(株)国際交流サービス

平成16年10月5日(土)～12月5日(日)

大和王権と渡来人

古代日本では、中国・朝鮮半島からの渡来人が各種情報をもたらした。政治や文化の形成に大きな役割をはたした。特別展では、三・四世紀に活躍した渡来人とそのもたらした情報、ならびに大和王権と渡来人・渡来系情報のかかわりに光をあてる。



中国鏡をモデルに創出した鏡(た龍鏡)
[奈良県新山古墳/宮内庁書陵部]



渡来人がのこした朝鮮半島系土器
[福岡市西新町遺跡/福岡県教育委員会]



日本最古の高温操業鍛冶資料(鉄滓がつく輪羽口)
[福岡市博多遺跡群/福岡市埋蔵文化財センター]

展示構成と主な展示品(総数410点、重要文化財2点)

- 第I部**
- 対外交易の窓口、福岡市西新町遺跡
朝鮮半島系土器
 - 渡来した先端鍛冶技術
日本最古の高温操業鍛冶資料(福岡市博多遺跡群)
 - 北部九州と大和王権
大和王権と手を結び入手した三角縁神獣鏡(福岡市藤崎遺跡)
- 第II部**
- 畿内の朝鮮半島系土器
朝鮮半島系土器(大阪市加美遺跡)
 - 古墳祭式と渡来人・渡来系情報
画紋帯神獣鏡(奈良県ホケノ山古墳)
三角縁神獣鏡(奈良県黒塚古墳)
中国鏡をモデルに創出した鏡(奈良県新山古墳)
 - 大和王権の技術供与
王権が掌握した高温操業鍛冶技術(奈良県纏向遺跡)
王権が南関東に供与した高温操業鍛冶技術
(神奈川県千代南原・千葉県沖塚遺跡)
 - その後の渡来人
朝鮮半島系土器(大阪府八尾南遺跡・大阪市長原遺跡)